

令和6年度地方における孤独・孤立対策推進事業交付金 事業実施報告書

【事業内容】

1. 地方版官民連携プラットフォームの構築

1 事業概要

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立準備会(以下、幹事会という。)を設立し、福島県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立について協議を行った。その後、令和7年1月に福島県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを設立し、その中で幅広く会員を募り、また、プラットフォーム会員のネットワークツールから住民に広く孤独・孤立相談窓口の情報発信を行った。

2 事業実施の経緯・背景及び目的

人との関係性やつながりが希薄化する中、コロナ禍の影響により社会に内在していた孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しているため、孤独・孤立対策を推進することを目的に当該事業を実施した。

3 事業の成果及び工夫した点

福島県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立し、幅広く会員を募集した。幹事会相互の情報共有を行い、孤独・孤立対策について理解を深めた。

4 事業の課題と次年度に向けての展望

孤独・孤立対策の理解促進や、福島県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを有機的に動かしていくこと。

2. 孤独・孤立対策関連事業の実施

「④住民への情報発信や普及啓発活動」及び「⑤人材確保・育成のための研修」

1 事業概要

孤独・孤立対策として、プッシュ型情報発信のため、ノベルティとチラシを作成し、関係する相談窓口に配布した。また、関係機関及び市町村の孤独・孤立対策への理解を深めるため、プラットフォーム会員、市町村及び県民を対象に講演会を開催し、動画配信を行った。

※別紙に詳細を記載

2 事業実施の経緯・背景及び目的

人との関係性やつながりが希薄化する中、コロナ禍の影響により社会に内在していた孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しているため、孤独・孤立対策を推進することを目的に当該事業を実施した。

3事業の成果及び工夫した点

福島県の孤独・孤立対策の相談窓口に繋がるようノベルティ及びチラシを作成し、相談窓口に配布した。

福島県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立記念講演会を開催し、参加できなかった方のために動画配信を行い、重ねて福島県孤独・孤立対策推進宣言を行った。

4事業の課題と次年度に向けての展望

孤独・孤立対策について認知度がまだまだ低く、情報発信の必要性が高い